

令和7年度 第1回愛媛県渋滞対策協議会

議事概要

1. 日 時：令和7年8月18日（月） 13：30～15：20

2. 場 所：松山河川国道事務所 2F第1・第2会議室（WEB併用）

3. 議 題

- （1）これまでの経緯
- （2）交通データによる最新の渋滞状況
- （3）主要渋滞箇所の評価
- （4）松山都市圏における通勤時間帯のTDM施策の実施方針
- （5）観光期の経路誘導対策の実施方針と交通状況
- （6）新たな道路ネットワークの開通による交通状況の変化
- （7）道路利用者会議からの要望に対する対応状況
- （8）発災時の交通マネジメント
- （9）対策の実施状況および今後の実施予定

4. 議事要旨

- 「（3）主要渋滞箇所の評価」において、新居浜 IC 入口交差点の右折矢印信号追加の整備効果の分析では、捌け台数だけでなく、速度向上の観点でも効果を検証すべきとの意見があった。
- 生活道路の渋滞評価について、道路構造上、低速度となる流入部においては、現状の解除基準から除外できるよう新たな解除基準を設けることを検討していくことを確認した。
- 「（5）観光期の経路誘導対策の実施方針と交通状況」において、GWは広報用ポスターの刷新、お盆はプッシュ広告の追加実施など、新たな取組について報告した。滞在を促す広報は、渋滞緩和だけでなく市内の経済面にも好影響があるため、継続して用いるべきという一方、早めの移動を促す取り組みは、宿泊施設側にはメリットがあるという意見があった。
- また、道路管理者だけでなく、観光関係者との連携も視野に入れた施策展開の検討や参考事例の収集・適用についての意見もあり、効率的かつ有効な方法を今後検討していくこととした。
- 「（8）発災時の交通マネジメント」において、今後、有事の場合に備えて関係者間で連携していくことを確認した。
- 今後、主要渋滞箇所の見直しを検討することを確認した。